

輝^きなんせ鳥取

KINANSE TOTTORI

＊特集＊
中山間地に
まご
孫ターン



インタビューの様子



ジビエツアーの様子
(読売旅行提供)

目次

- 輝^{ひと}く女と男^{ひと}にインタビュー2P～3P
- 「輝なんせ鳥取」NEWS4P
- ハーモニーフェスタ4コマ5P
- かがやき企業紹介6P

ひとひと輝く女と男にインタビュー



孫ターン、そして猟師に

やまもと あきこ
山本 暁子さん

今回は、都市部から祖父母の家に孫ターンし、本業のITの仕事だけではなく狩猟免許を取得し、山間地の問題にも取り組んでいる山本暁子さんにお話を伺いました。(R5.12.12取材)

◎Uターンをされたきっかけ

大阪・東京で会社勤務をしてましたが、30代になり、自分の価値観も変化してきて、定時の労働に対して対価をもらうような働き方は、自分には合っていないと思い始めていました。

また、ITという仕事柄、インターネットがあれば、どこにいても仕事をするのが可能なので、都市部よりも田舎に住むほうがメリットが大きいと考え、どこかに生活の拠点を移そうと考えていました。そして、鳥取に祖父母の家があったので、一週間ほど家族と滞在してみて、自然と一体の暮らし方が自分には合っていると感じ、思い切ってUターンを決意しました。



ジビエツアーの様子(読売旅行提供)

◎なぜ狩猟免許を取得しようと思ったのか

最初は在宅でITの仕事一本で暮らそうと思っていました。けれども、山間地で暮らしてみても、獣害対策の切実さを感じるようになりました。ですが、狩猟をする人は少なく、年々減ってしまいます。そこで、「おいしいイノシシ肉を食べられたらいいな」という気持ちもあり、また、幼少期の祖父とのキジ解体の原体験が動力になっているかもしれませんが、狩猟への抵抗も特にありませんでしたので、「ひとまずやってみる！」という元来の性格もあって、自分で獲ろう！と狩猟免許を取得するにいたしました。

◎今の肩書

システムエンジニアであり、猟師であり、ライターであり、商品開発者(ハム等の加工品)であり、スマホ教室の講師でもあります。

今後も、視野を広くして活動していきたいと思っています。



開発中の鹿肉ウィンナー

◎ 狩猟ハンターとしての活動・企画

いざ、狩猟を初めてみると、有害鳥獣対策をまさに、「体感」しました。そして、表面的には、「狩猟」という活動なのですが、その背景には、中山間地の過疎化や、社会構造のしくみ、社会・経済の問題、環境問題が、都市部よりもはっきりと浮き彫りになっていると感じるようになりました。そして、その問題を少しでも解決できるシステムを構築できたらと考えて活動しています。

また、未来を担う若い人たちや子どもたちに、年数がかかってもそれらの問題に興味関心をもって生きていってほしいと思うようにもなっています。

その方法の一環として、旅行会社と企画して、都市部の人たちに過疎化と獣害で苦しむ中山間地の現状を知ってもらいながらジビエを楽しむツアーを開催したり、ジビエの精肉を通して楽しく学ぶ食育教室を設けるようになりました。実際に体験すると、興味がわき、考えが変わっていくのがわかります。眠っている才能も掘り起こせたらいいなと思っています。

まだまだ発展途上ではありますが、環境大学には狩猟部も発足したりしていて、若い人たちの中に、興味や関心、問題意識をもっていってもらえていると感じています。



ジビエツアーの様子(読売旅行提供)



◎ 大切にされていること

活動する上で、今まで助けられてきたこと、楽しくやってこられたことを忘れないようにしています。そして、そのバトンを次世代に伝えていきたいと思っています。

みなさんの中に楽しいと思える循環ができれば、問題解決の糸口も見え、未来につながっていくと信じています。

また、ITの強みを生かして、地域の農家さんのお役に立ちたいと思っています。

◎ ご家族は活動をどのように応援されていますか

夫はもともとは虫嫌いでしたが、Uターンしたことによって、虫や動物たちと共存する人間らしい生活に馴染んでいっているように感じています。今はムカデ以外の虫ならOKになりました(笑)! 狩猟免許も取得し、わたしから見ても、狩猟の才能があります! わたしよりもさらに、行動力のある人かもしれません。



大学生たちと

インタビュアーとして山本暁子さんにお会いするまで、現代において、あえて、「狩猟」をするという意味を考えてもみませんでした。おはなしを聞くだけでは、おそらくそのシビアな現実のほんの一端しか触れてははいませんので、そこから派生する深い社会の課題や活動を、もっと知りたいと思う貴重な時間となりました。(T.S)





講師：前田 良さん
(一般社団法人SOGI Japan代表理事)

一般社団法人SOGI Japan代表理事であり、『パパは女子高生だった』(明石書店)の著者、前田良さんの講演会が開催されました。

LGBTQという言葉がTV等で散見されるようになり、学校教育でも取り上げられるようになってきましたが、前田さんが子どもの頃、それらの情報はほとんどありませんでした。女の子の体である自分に生きづらさを抱えていた前田さんは、その原因が何かが分からず一人で苦しんでいました。

前田さんのお話を、「もしも自分の心が男の子だったら？」と考えながら聞いていると、野球が好きだけれど、野球部に入れない。スカートををはきたくないのに、制服にスカートの選択肢しかない。公共トイレでは、「男はあっち！」と怒られ、温泉や銭湯などでは、「男湯へ行け！」と押し問答になる。クラスに好きな女の子がいたけ

パパは女子高生だった

～自分らしく生きること～

令和5年10月28日(土)
鳥取市人権交流プラザ

れど、いじめられたくなくて、男の子が好きならして嘘をつく。

毎日がこんなことの繰り返しだと、本当にめんどくさいではないでしょうか。何よりも、一つの行動に人の倍以上の労力が必要です。そして、自分のもとより、家族や友人に嘘について生きることとはつらいことではないでしょうか。

おとなになると、問題はさらに複雑化します。手術をしなければ性別変更が法的に認められない。パートナーシップに法的拘束力がないため、病院によっては家族扱いをしてもらえない。また、前田さんは、自分の子どもの出生届けが二年間も受理されず無戸籍状態だったといえます。

それらは、全ての人に保障されているべき、基本的な権利であるはずで。けれど、前田さんは、それらをいちいち人に説明したり、裁判をしたり、自分の感情を押し殺してやり過ごすしかなかったのです。

前田さんのお話は、多くの未知の生きづらさを抱えて生きている人たちに思いをはせると同時に、自分自身の生き方を見つめなおすきっかけにもなる内容でした。前田良さんが特別な人ではなく、全ての人にとって、自分らしく生きるとは?と問いかけてくる講演でした。(T.S)



講師：高橋秀明さん
(法テラス鳥取事務局長)

DVと聞いて何を一番考えられるでしょうか？身体的暴力が最初に頭に浮かぶことかと思います。次に精神的なこととして言葉の暴力、金銭的には家にお金を入れない、借金をするなど、また性的なことも含まれますが、これは「魂の殺人」とも言われ、心に甚大な影響を与えてしまいます。

「夫から暴力を受けています。離婚をしたいと思って相談をしたいのですが…」と法テラス鳥取事務局長高橋秀明さんより具体的な電話でのやり取りを通して、離婚の手続きや親権者決定、養育費・婚姻費用、財産分与についてなどわかりやすく紹介していただきました。また、相談先はたくさんありますが、人と人なので合う、合わないがあります。合わないと思ったら次に行く。うまく合う人に会えば精神的にも楽になります。

女性のための法律講座

～今、DVから逃れるために～

令和5年11月18日(土)
男女共同参画センター

弁護士と会うということはハードルが高いように思われがちですが弁護士も人なので話してみるとそうでもない。

またDVの相談に対しては弁護士が翌日に対応できるようにになっているので利用をお願いしたい。一人でも多くの被害者が今の現状から抜け出し、新たな一歩を踏み出してほしいと話されていました。

離婚等の申し立て理由の内訳も22年前は質問事項も少なく異性の問題は浮気、家族の問題は嫁と姑、実家に一緒に住んでももらえないなどDVの理解が出来ていない状況でした。現在は時代が変わりDVの理解も深まり、身体だけではなく心の中までと内容が変わってきています。法律も令和6年4月から保護命令の中に精神的暴力が対象になってくるようです。

「どうしよう。これからどうなるのだろう…」と今現在不安な気持ちを抱えている方はお近くの相談窓口や法テラスへ、周りで困っている方には情報提供をお願いしたいと思います。

自分自身と子どもを守るため、笑顔がある幸せな生活を送るために一歩を踏み出してみませんか。(O.M)

10月1日(日) 第30回女と男とのハーモニーフェスタ
さあ進もう、共に輝く明日へと！！



女性がもっと輝くとっとりへ キラリ☆さがけ塾が開催されました！

『キラリ☆さがけ塾』（鳥取市女性応援つながりサポート事業）の今年度2回目が1/8(月)に開催されました。

午前は産後ケアやわらかい風の長治香代子さんによる講演会とアフタートーク、午後は養生薬膳料理教室など7つのワークショップが開催されました。

講演会では、『助産師と話そう女性のからだとホルモンの話』と題して、生き生きとした生活を送るためには、体について正しい知識を持つことが大切であると説明があり、講演後には、小グループに分かれ、講師・スタッフを交え、アフタートーク会を実施しました。

午後のワークショップも、事前予約なしで参加できるブースに順番待ちができるなど、大盛況で終えました。



講演会



ワークショップの様子

* 令和5年 鳥取市男女共同参画かがやき企業に23社が認定！ *

鳥取市では、男女共同参画及び女性の活躍推進に理解と意欲があり、仕事と家庭の両立に配慮しながら、誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる企業を「鳥取市男女共同参画かがやき企業」として認定しています。令和5年は次の23社が認定されましたのでご紹介します！

名 称	業 種
大永設備工業有限会社	建設業
株式会社都市建設	建設業
社会福祉法人鳥取福祉会	社会福祉法人
吉田建設株式会社	建設業
坂口設備工業株式会社	建設業
正田工業有限会社	建設業
株式会社グリーンテクノクリエイト	一般建設業
田中工業株式会社	総合建設業
株式会社栗山組	建設業
株式会社さくら建設	建設業
株式会社鳥取銀行	金融業
吉野設備工業株式会社	管工事業

名 称	業 種
明生管工有限会社	建設業
株式会社 赤松商会	建設業
永興電業株式会社	建設業
有限会社ケイディエス	空調設備・電気設備工事業
株式会社 長谷板金	建設業
有限会社 尾崎工務店	建設業
株式会社 ミナミコーポレーション	電気設備工事
株式会社 美染	美容業
株式会社 丸由	小売業
中央建設株式会社	建設業
株式会社 東部電工	建設業



このロゴマークを使用している企業は、誰もが働きやすい環境づくりに取り組んでいる企業です。

令和5年12月末現在55社が認定企業となっています！

詳しくは、鳥取市公式ウェブサイトで紹介しています。



かがやき企業ご紹介

編集後記

元旦に能登半島など北陸地方で地震が発生し、大きな被害が生じました。被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。一日も早く安心した生活が送れますようお願いしております。神戸からの「ともに」の言葉は、日々生活をする私たちにもたくさんのメッセージを頂いたように思います。

人と出会うことで、願いが叶ったり癒されたり、新たな発見もあり人生が大きく変わることもあります。今年も出会いを大切にしたいですね。(編集委員 O)

鳥取市男女共同参画センター

き
「輝なんせ鳥取」

〒680-0822

鳥取県鳥取市今町二丁目151(丸由百貨店5階)

TEL / FAX (0857) 24-2704

メール: danjyo-center@city.tottori.lg.jp

鳥取市ホームページ: <http://www.city.tottori.lg.jp/>



HP



Facebook

